

便利で魅力ある図書館づくりをサポート
— 情報提供図書館からスキル開発サポート図書館に —

2023/06/21

iJapan株式会社

笠間 和喜 / 楊 綺玲





ジャーナルの購読価値を測定するサービス

世界的傾向：

- OAの爆発的な成長

利用者に必要なもの：

- COUNTER5のUsageレポート
- 出版社提供の\$価格表を入力
- 出版社の支払い\$費用

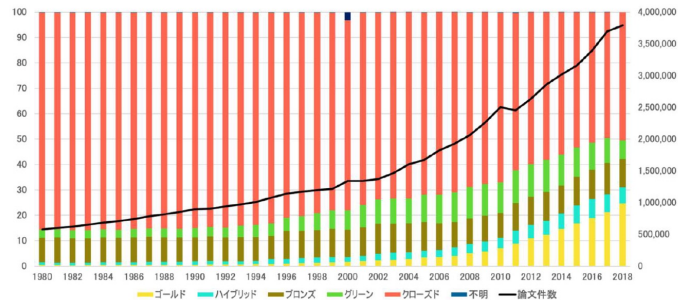
出力されるもの：

- ジャーナル毎の正確なCost per Use
- ジャーナル毎のOA率、著者数、引用数等の切り口の情報
- 1年間の論文の利用をどのように充足させるか？

注意：COUNTER5のTR_J1のGold OAを除いた利用だけではCost per Useは十分な数値を測定できません。

出版年：世界のOAの全体像

結果



- 過去10年間で日本・世界ともに約40%がOAである
- 近年、ゴールドの割合が伸びている
- 日本の過去の論文でのブロンズの割合の圧倒的に高い

13

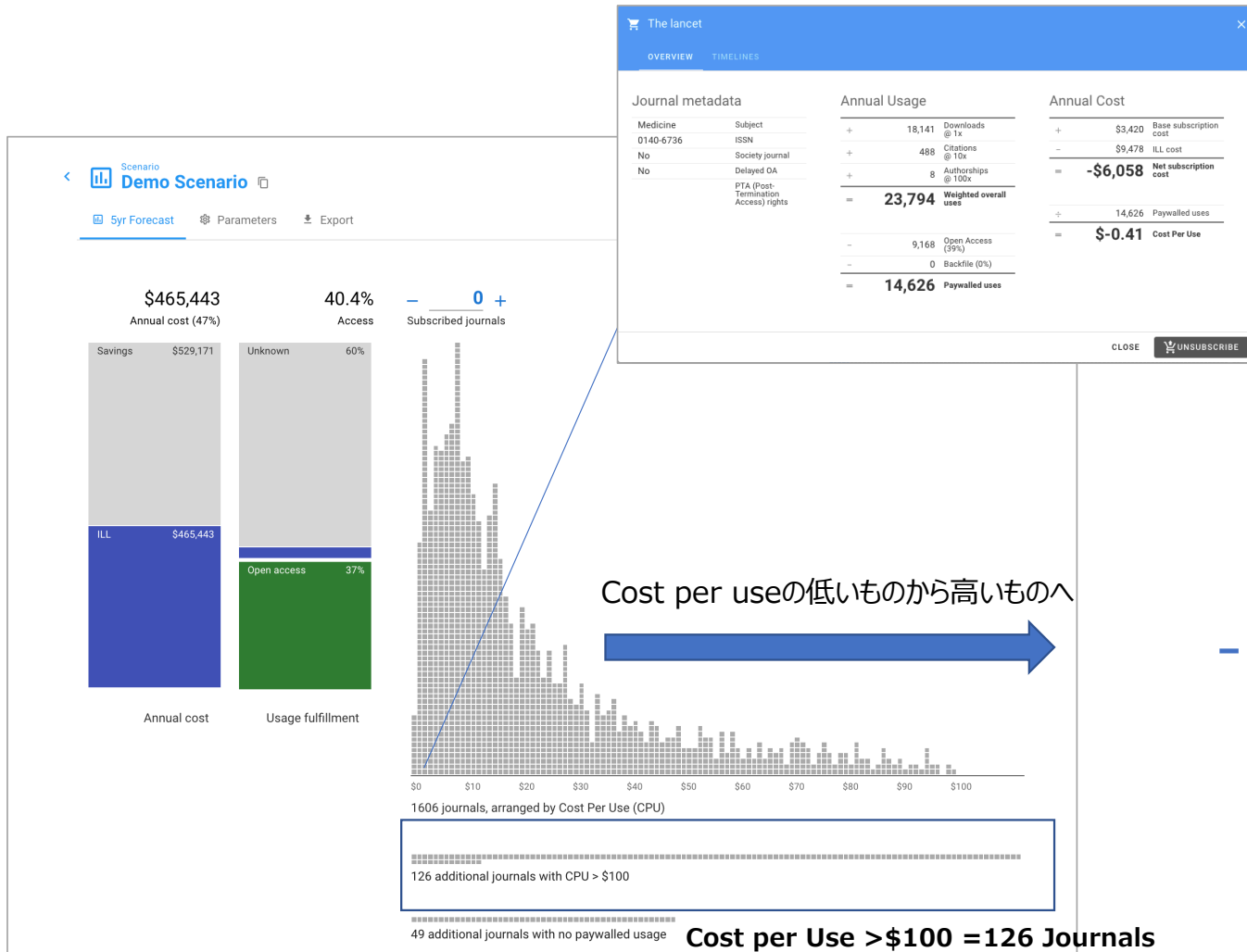
<https://www.nii.ac.jp/openforum/upload/859c90872030732daeb544c9f02f016f2fb7d2a9.pdf>

表 3: 日本と世界の OA 状況.

OA 種別	日本 (%)	世界 (%)
ゴールド	7.33	7.67
DOAJ 掲載論文・ライセンス付	5.02	5.22
DOAJ 掲載論文・ライセンスなし	0.34	0.66
その他 OA ジャーナル掲載論文・ライセンス付	0.29	0.71
その他 OA ジャーナル掲載論文・ライセンスなし	1.68	1.09
ハイブリッド	3.09	3.37
ブロンズ	24.37	10.45
グリーン	7.04	8.28
クローズド	58.16	70.08
不明	0.01	0.14

<http://hdl.handle.net/2433/246424>

Unsub.org: ジャーナルの購読価値を測定するサービス



JournalのNetコスト（ジャーナルコスト-ILL）
 \div 実効Paywall利用数 = CPU on unsub.org

実際のJournal Usage

COUNTER
 準拠の
 利用統計

自機関での引用としての利用
 Citation Usage *x

自機関著者投稿回数
 Author Articles *Y

Open
 Access
 で閲覧可能
 な論文

(Counter準拠の利用統計
 + Citation利用*x
 + 著者論文数*Y)
 - Open Access論文アクセス
 = Paywalled Journal Usage
 (実効Paywall利用数の算出 = 本当
 にお金を払わないと見れないコンテンツ)



図書館によるユーザへの利便性の提供と同時にオンライン・コンテンツ利用確認ツール

ユーザ利便性向上：

ユーザの動向確認 1：ユーザは、Google 検索、購読、Open, Free等さまざまなサイトから情報入手

ユーザの動向確認 2：ユーザは、モバイルからアクセスする傾向

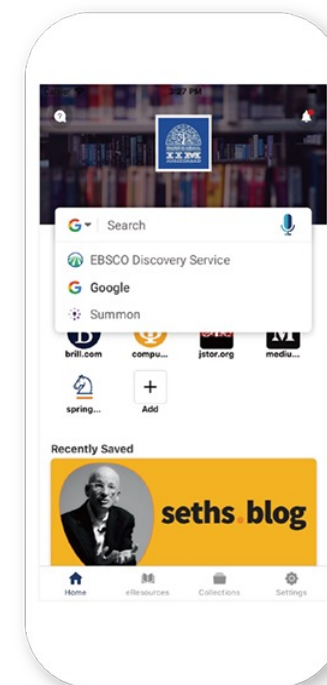
1. 個人機能の拡張
 1. よく利用するサイトのブックマーク
 2. 個人用ポータルサイト(簡易ブックマークサービスと機関購読コンテンツの統合)
 3. 保存したコンテンツへの書き込み等
2. 購読コンテンツナビゲーター
 1. Google等を利用した購読コンテンツナビゲーター – PC / モバイル Apps
 2. 個人用ポータルサイトからのブラウズ機能
3. モバイル対応
 1. モバイルApps
 2. PCでもモバイルでも情報共有

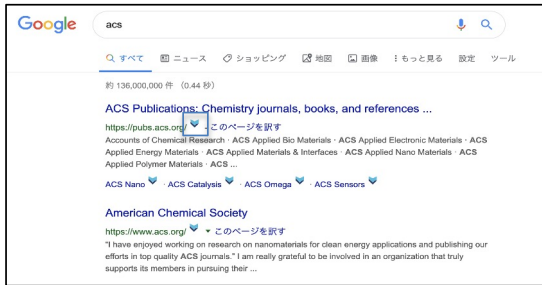
管理者の要求 1：COUNTER Reportは誰が利用しているか統計が取れない。

管理者の要求 2：ユーザに使ってほしいサービスを優先表示させたい

管理者機能

1. より詳細なユーザカテゴリとコンテンツグループの設定
2. ジャーナルレベルの利用統計
3. ユーザに推奨するコンテンツの案内（OPAC等）
4. 横断検索等のインテグレーション

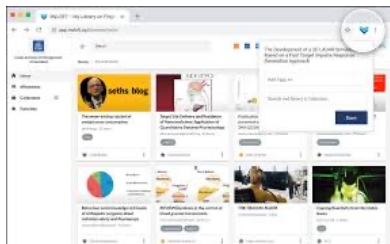




Google等を利用した
コンテンツナビゲーション



モバイルApps対応



購読コンテンツ+ブックマーク機能

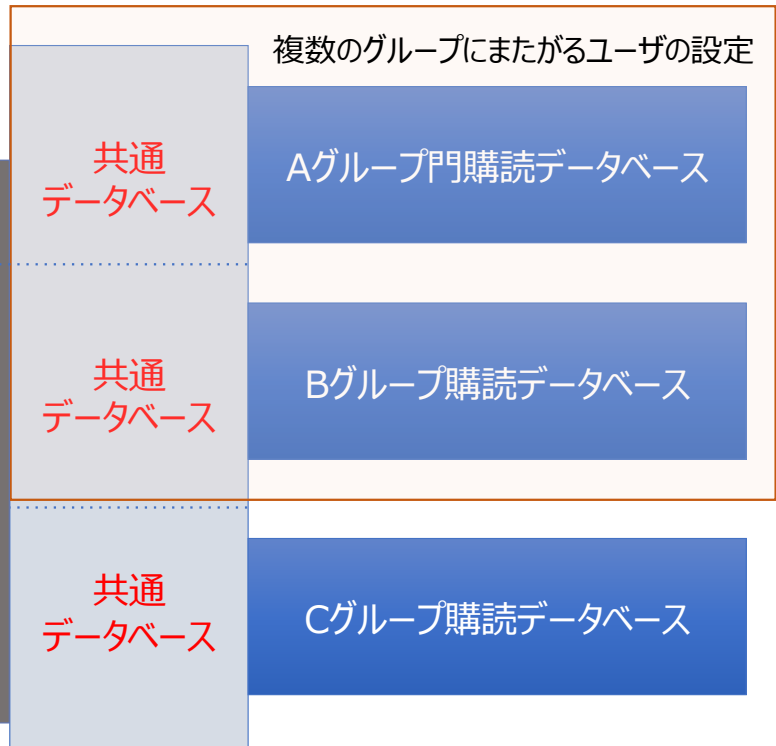
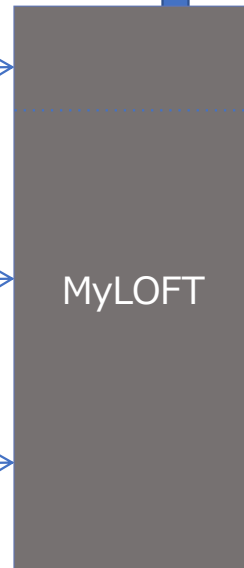


ユーザ及び部門とジャーナルレベルまでの利用統計

Aグループ

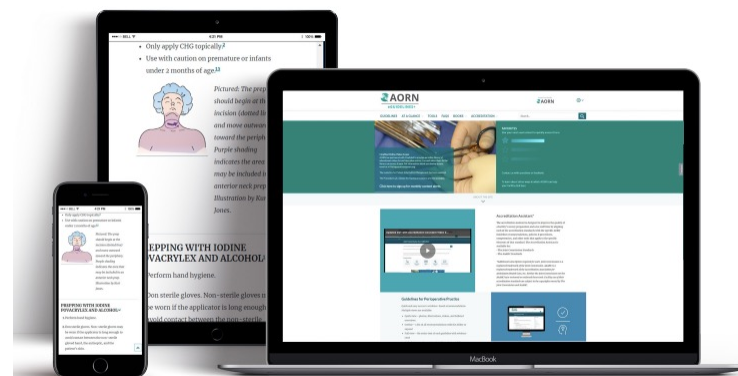
Bグループ

Cグループ



周術期のエビデンスに基づくガイドライン

- 日本：麻酔学会
- USA：手術看護学会



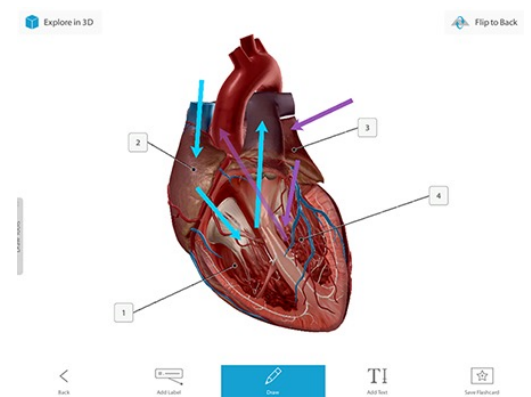
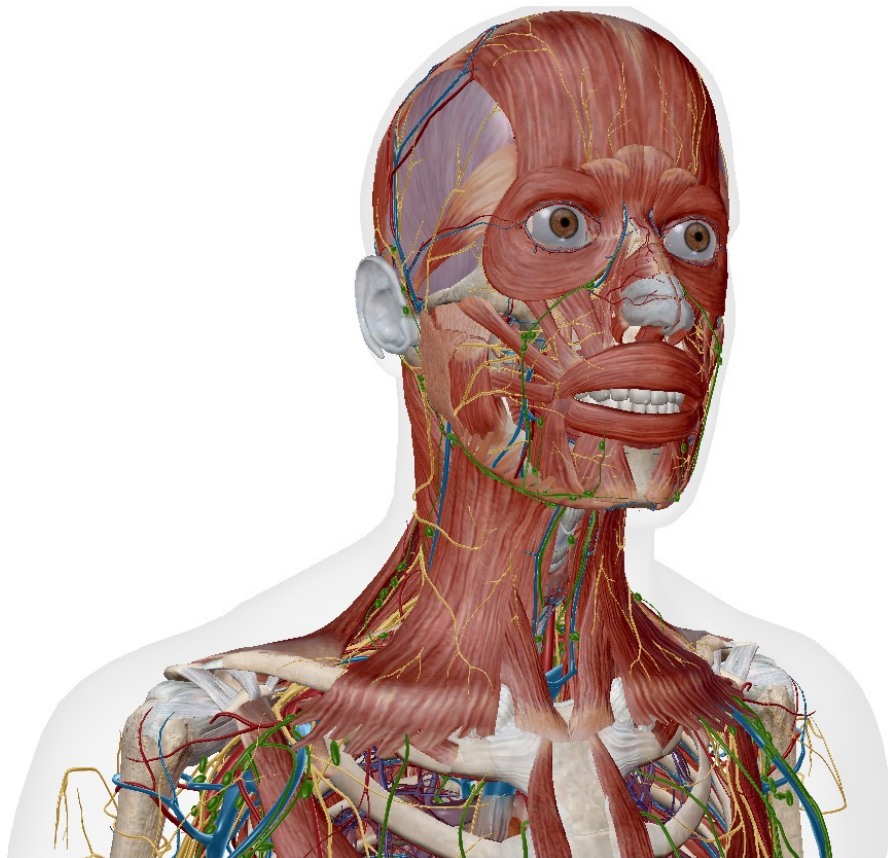
No	Guidelines A-Z	日本語訳	2020	2021	2022	2023	No	Guidelines A-Z	日本語訳	2020	2021	2022	2023
1	Autologous Tissue Management	自家組織管理	✓				18	Packaging Systems	器具のパッケージング				
2	Complementary Care Interventions	補完ケア介入			✓		19	Patient Skin Antisepsis	患者の皮膚の消毒			✓	
3	Design and Maintenance of the Surgical Suite	手術室の設計とメンテナンス					20	Pneumatic Tourniquet	空気止血帯		✓		
4	Electrosurgical Safety	電気手術の安全性		✓			21	Positioning the Patient	患者のポジショニング				✓
5	Environment of Care	ケア環境					22	Pressure Injury Prevention(NEW in 2023)	褥瘡予防				✓
6	Environmental Cleaning	環境浄化	✓				23	Product Evaluation	製品評価				✓
7	Flexible Endoscopes	フレキシブル内視鏡				✓	24	Radiation Safety	放射線安全性			✓	
8	Hand Hygiene	手指衛生				✓	25	Retained Surgical Items	手術アイテムの保全			✓	
9	High-Level Disinfection	高度消毒					26	Safe Patient Handling and Movement	安全な患者の取り扱いと移動				
10	Hypothermia	低体温	✓				27	Sharps Safety	鋭利な器具の安全性	✓			
11	Information Management	情報管理				✓	28	Specimen Management	検体管理		✓		
12	Instrument Cleaning	器具清掃		✓			29	Sterile Technique	無菌操作				
13	Laser Safety (NEW)	レーザーの安全性		✓			30	Sterilization	殺菌、消毒、滅菌	✓			
14	Local Anesthesia	局部麻酔		✓			31	Surgical Attire	手術衣	✓			
15	Medication Safety	投薬安全性				✓	32	Surgical Smoke Safety	サージカルスモークの安全性			✓	
16	Minimally Invasive Surgery	最小侵襲手術				✓	33	Team Communication	チームのコミュニケーション				
17	Moderate Sedation/Analgesia	意識下鎮静/鎮痛			✓		34	Transmission-Based Precautions	感染経路別予防策				
							35	Venous Thromboembolism	静脈血栓塞栓症				✓



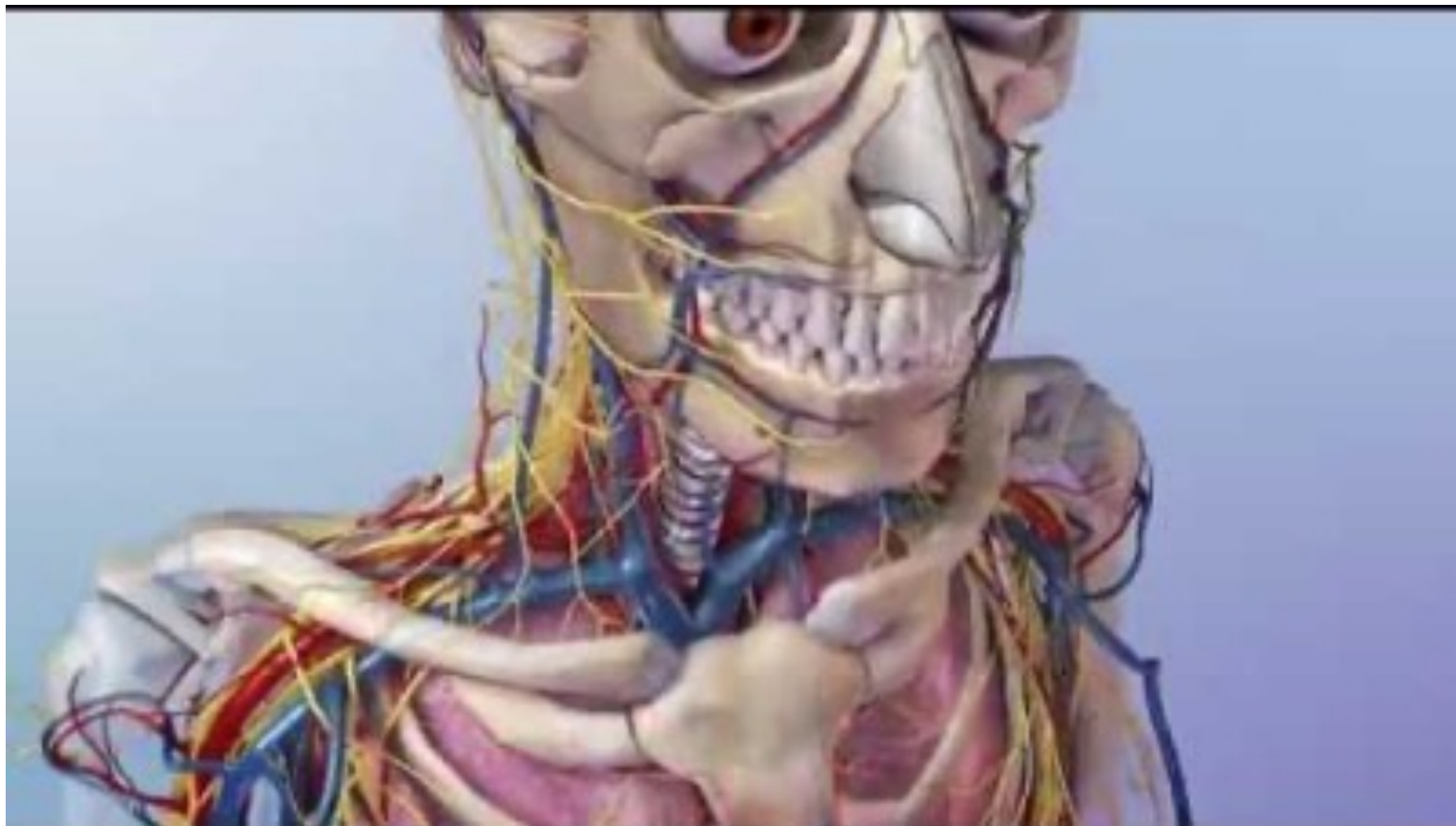
人体の内部を調べるためのバーチャル解剖学

ライフサイエンスを理解するために必要なビジュアルとインタラクティブなコンテンツがすべて揃っています。

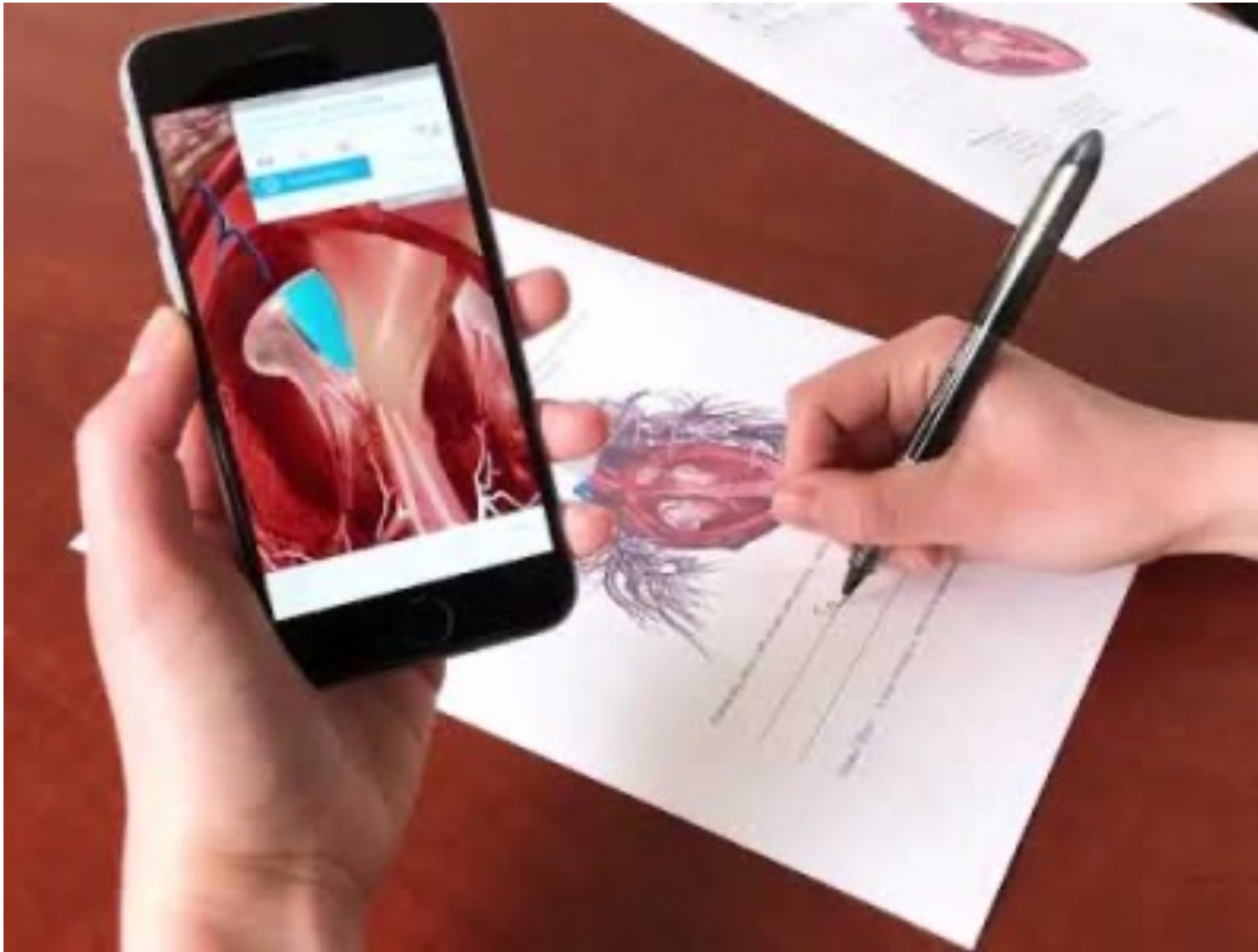
- 男性と女性の3D解剖学モデル
- AR（拡張現実）機能で、仮想の人体器官または完全な人体モデルが表示し、完全な仮想解剖を実行可能
- 人体器官通常の機能と一般的な疾患に関する短い紹介ビデオ
- 自分のペースでA&P（Anatomy & Physiology）短期集中トレーニングと学習用フラッシュカード



Visible Body紹介動画 : <https://www.youtube.com/watch?v=JxzanXRRkAc>



AR機能 : https://www.youtube.com/watch?v=lgK2uHA1k_o



ご清聴ありがとうございました。
ブースにてお待ちしております。